

特集「健康と粉体」を企画して

特集担当編集委員 鈴木 道隆、山田 昌治、菅原 尚也

すべての人にとって健康は何にもまして重要な項目であり、病気や怪我をせずに無事に過ごすことはすべての幸福の原点である。従来、粉じんは呼吸器などに悪影響を与えたり、街を汚したりという問題を引き起こし、粉体は健康に対する悪者の印象が強かった。しかし、近年、特に医薬品や食品分野で粉体技術を利用し、医薬品や食品の安全性を高め、医薬品の効果を上げたり、食感に変化を持たせたり、健康に良い食材を食べやすくしたりする研究が進められ、粉体が人の健康に役立つ例も増えてきた。そのような中で粉体は健康のためにどのような役割を果たせるのかを取り上げたのが今月号の特集テーマ「健康と粉体」である。食品、医薬、粉体機器、健康食品などいろいろな分野の方々に執筆をお願いし、様々な視点から「健康と粉体」に関する解説をしていただいた。

同志社大学の**高野 頌先生**には「吸入療法におけるドライパウダー製剤の気道内送達」と題して、呼吸とともに体内に入った微粒子が呼吸器のどこまで到達し、どこまで到達するのか、医薬品へどのように応用できるのかについて解説していただいた。

兵庫県立大学の**吉村 美紀先生**には、「粉体食品による健康のための食品機能の改善」と題して食品の専門家の立場から、食品の食感や機能向上に粉体がどのように役に立つのかをご教授いただいた。

食品メーカーである**ブンセン(株)**の**田中 満智子氏**には「じゃが芋コロケとそっくりなおからコロケ」と題して、おからを粉砕することによって舌触りを滑らかにし、健康にも良いおからコロケを開発したお話を書いていただいた。

ライオン(株)の**角井 寿雄氏**、**伊藤 武利氏**には「ヘルスケア製品の特徴を支える粉体技術」と題して、消臭剤や歯磨き、解熱鎮痛剤などの粉体利用製品の解説をいただいた。

日清ファルマ(株) **抜井 一貴氏**には「小麦アルブミンを利用した機能性粉体食品素材」と題して、糖尿病予防効果を考えた粉体健康食品の紹介をいただいた。

機械メーカーの立場から**(株)日本アルミ**の**二村 光司氏**には、健康に関係する粉体をハンドリングする際に使用する「高薬理活性医薬品などのハンドリングに用いる封じ込めバケトリフター」の解説をお願いした。

この特集が、健康を目指した製品開発や健康に役立つ食品や医薬品製造のための粉体技術の検討などに寄与すれば幸いである。

